

長期病休の性差と年齢差： J-ECOHスタディにおける検討

国立健康危機管理研究機構
臨床研究センター 疫学・予防研究部

長期疾病休業は重要な公衆衛生課題の一つ

- ◆長期疾病休業（以下、長期病休）：
疾病による、長期にわたる仕事の休業
- ◆労働者の早期退職・死亡の予測因子 (Salonen L, et al. 2020; Vahtera J, et al.2004)
- ◆欧州では、全労働者や民間企業の労働者を対象に長期病休の実態を調査 (Timp S, et al.2024, Roelen CA, et al. 2009)
- ◆日本では、民間企業の労働者を対象に2年間の追跡調査 (Nishiura C, et al. 2017)
- ◆女性特有の健康問題による長期病休の情報は限定的

目的

日本の大規模職域多施設研究の10年分のデータを用いて、長期病休発生状況を性・年齢別に明らかにする

方法

◆職域多施設研究（J-ECOHスタディ）

対象者：

参加施設（N=16）における2012年4月1日～2022年3月31日の20～64歳の在職者（年度ごとの平均在職者数：約10万人）

長期病休の定義：

疾病による連続30日以上の欠勤

原因疾患の分類：

病休を取得する際に労働者が会社に提出する診断書を基にICD-10で分類

長期病休発生率：

長期病休発生率(1万人年あたり)

$$= \frac{\text{観察期間中に20～64歳の労働者の長期病休発生件数の合計}}{\text{観察期間中に20～64歳である労働者の積算人数}}$$

結果

総人数、長期病休件数、長期病休発生率

◆追跡期間

男性：730,391人年

女性：161,513人年

◆長期病休件数

男性：6,518件

女性：1,866件

◆長期病休発生率

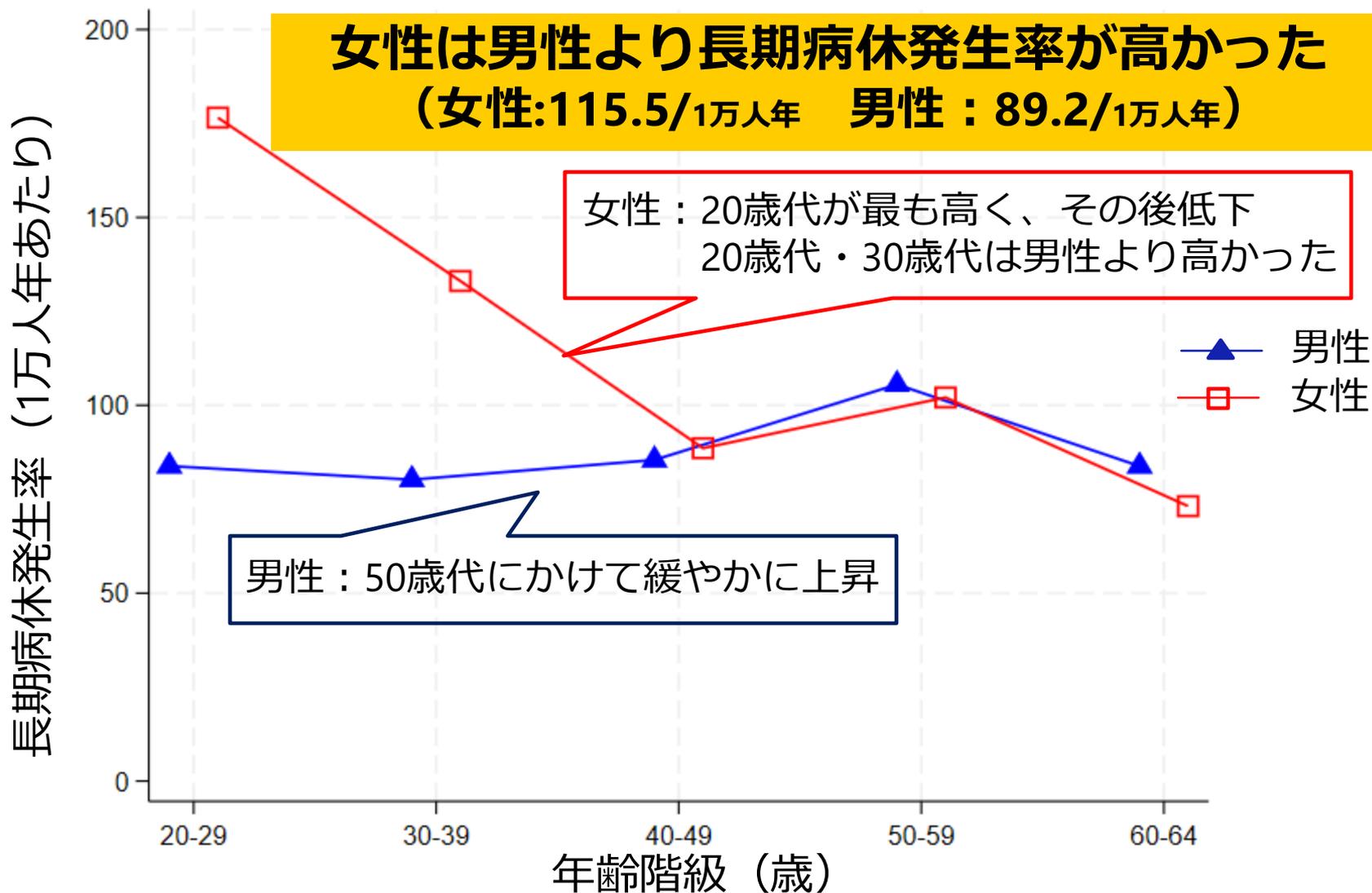
男性：89.2/1万人年

女性：115.5/1万人年

女性は男性より長期病休発生率が高かった

結果

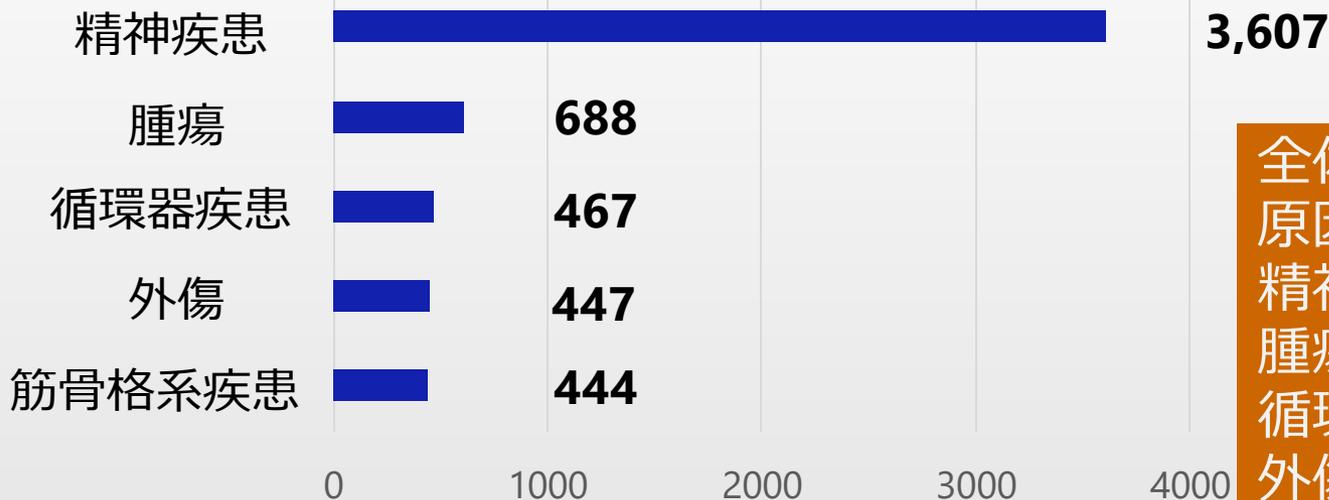
長期病休発生率



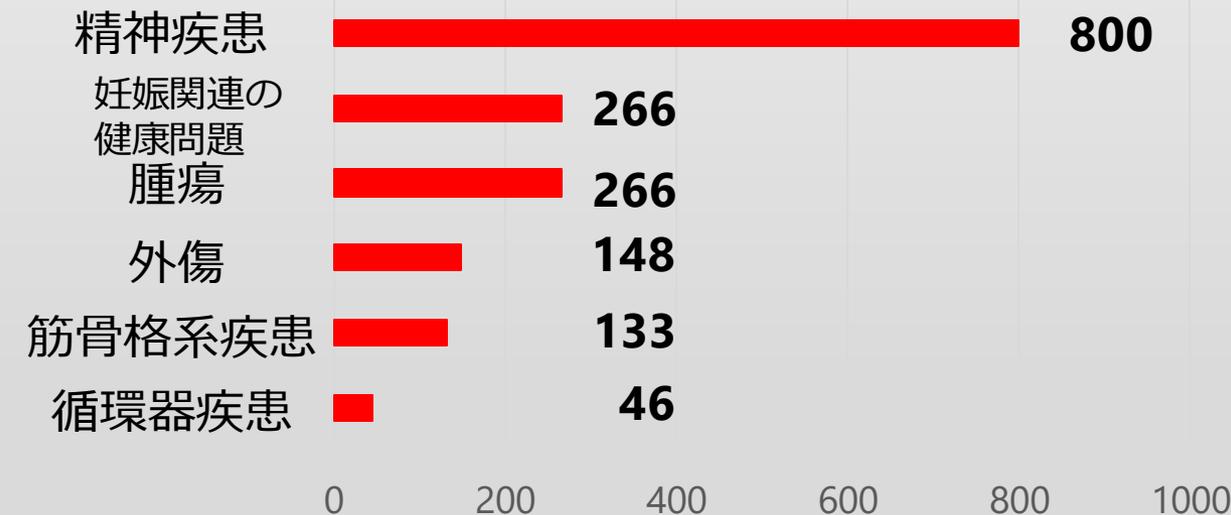
結果

長期病休の原因疾患

男性 件数：6,518



女性 件数：1,866



全体で上位を占めた原因疾患：
精神疾患 (ICD-10:F00-F99)
腫瘍 (C00-D48)
循環器疾患 (I00-I99)
外傷 (S00-T98)
筋骨格系疾患 (M00-M99)

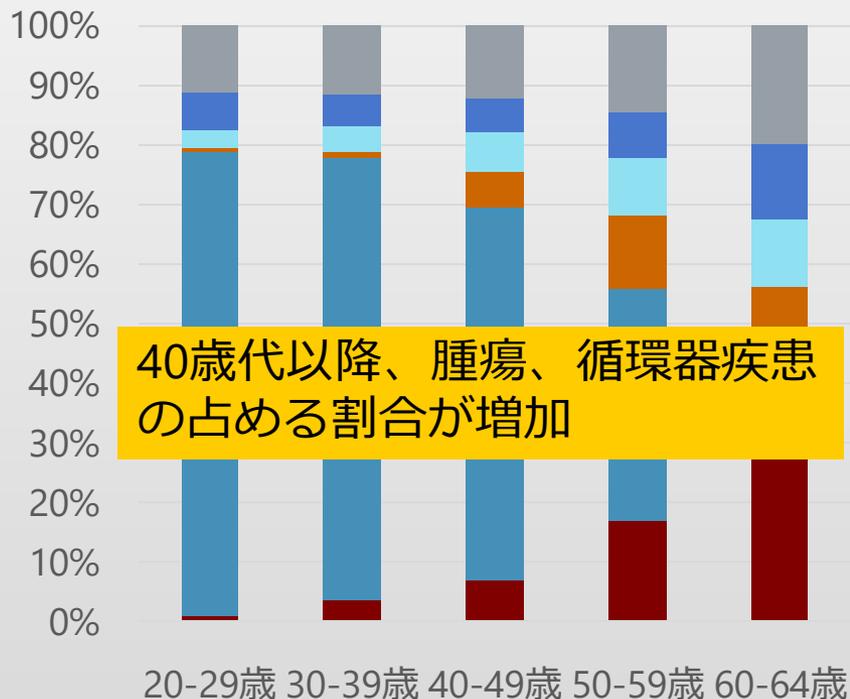
女性特有：
妊娠関連の健康問題
(O00-O99, 切迫早産、
過度の妊娠悪阻等)
* 産休・育休は含まない

結果

長期病休の原因疾患の割合

- ◆ 男女ともに20歳代から50歳代は長期病休の原因疾患で精神疾患が最多
- ◆ 60歳代は、男性では腫瘍、女性では外傷が最多

男性



女性

20・30歳代は精神疾患、妊娠関連の健康問題の占める割合が高い



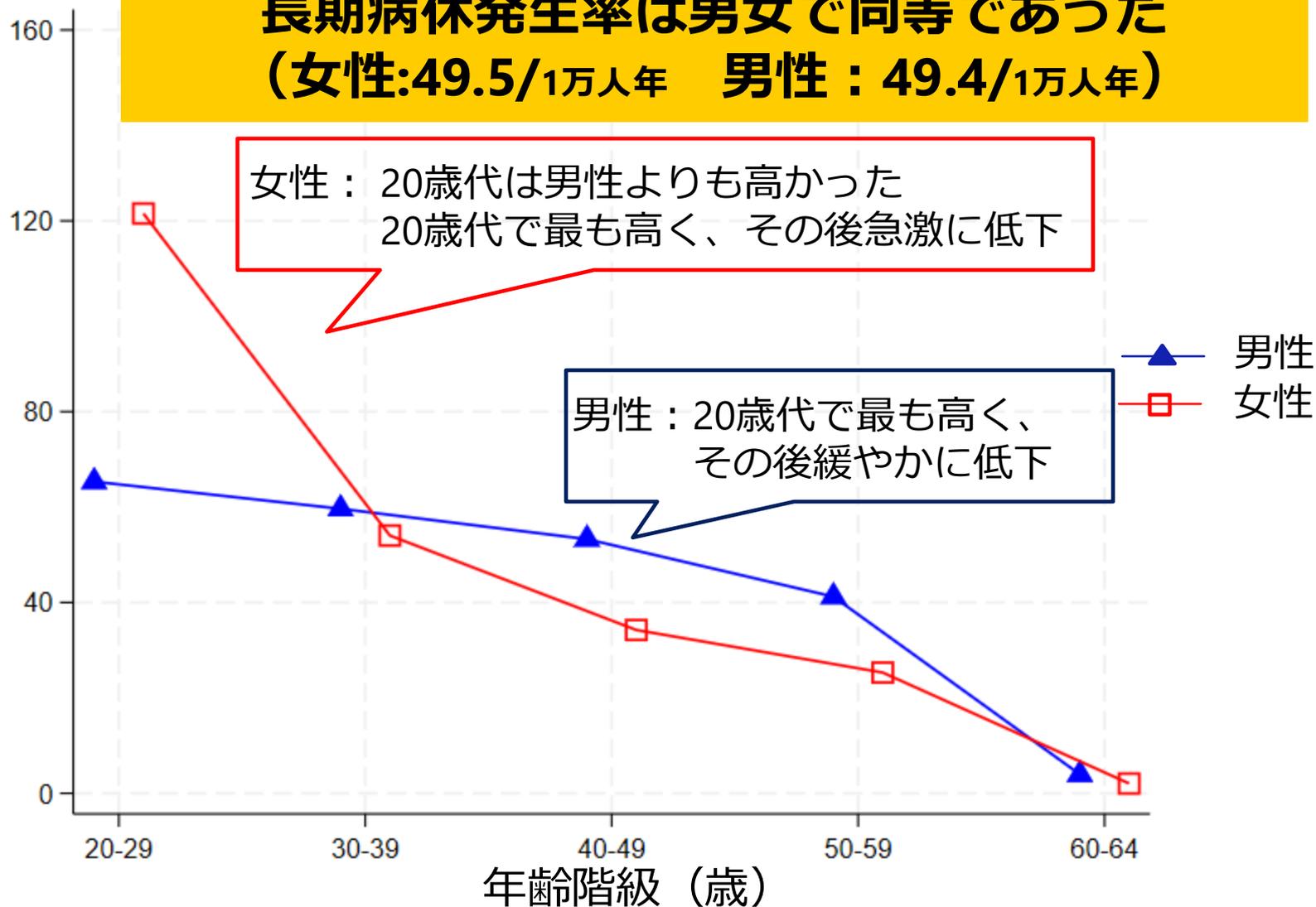
腫瘍 精神疾患 循環器疾患 筋骨格系疾患 妊娠関連の健康問題 外傷 その他

結果

精神疾患による長期病休発生率

長期病休発生率は男女で同等であった
(女性:49.5/1万人年 男性:49.4/1万人年)

長期病休発生率 (1万人あたり)

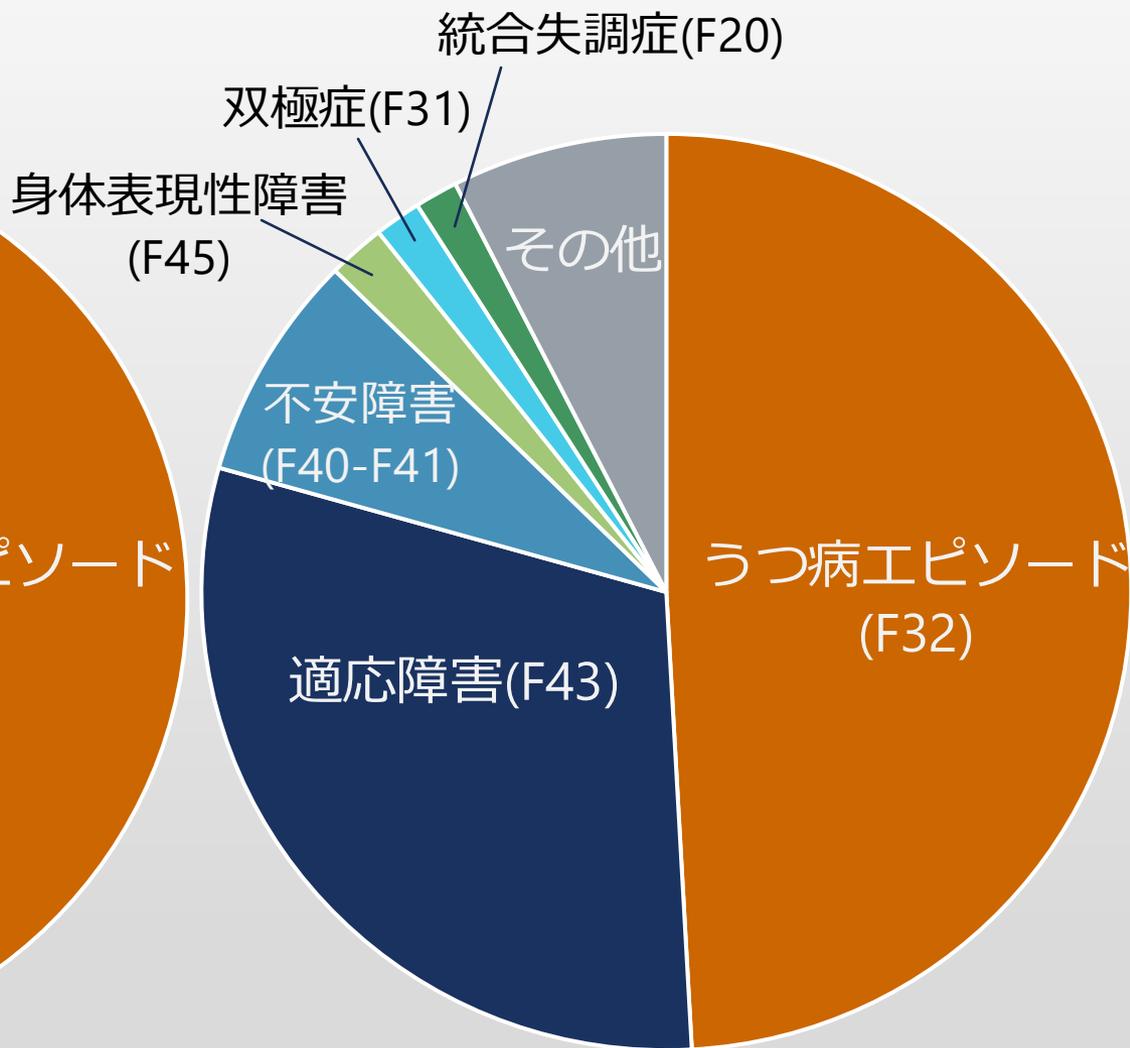
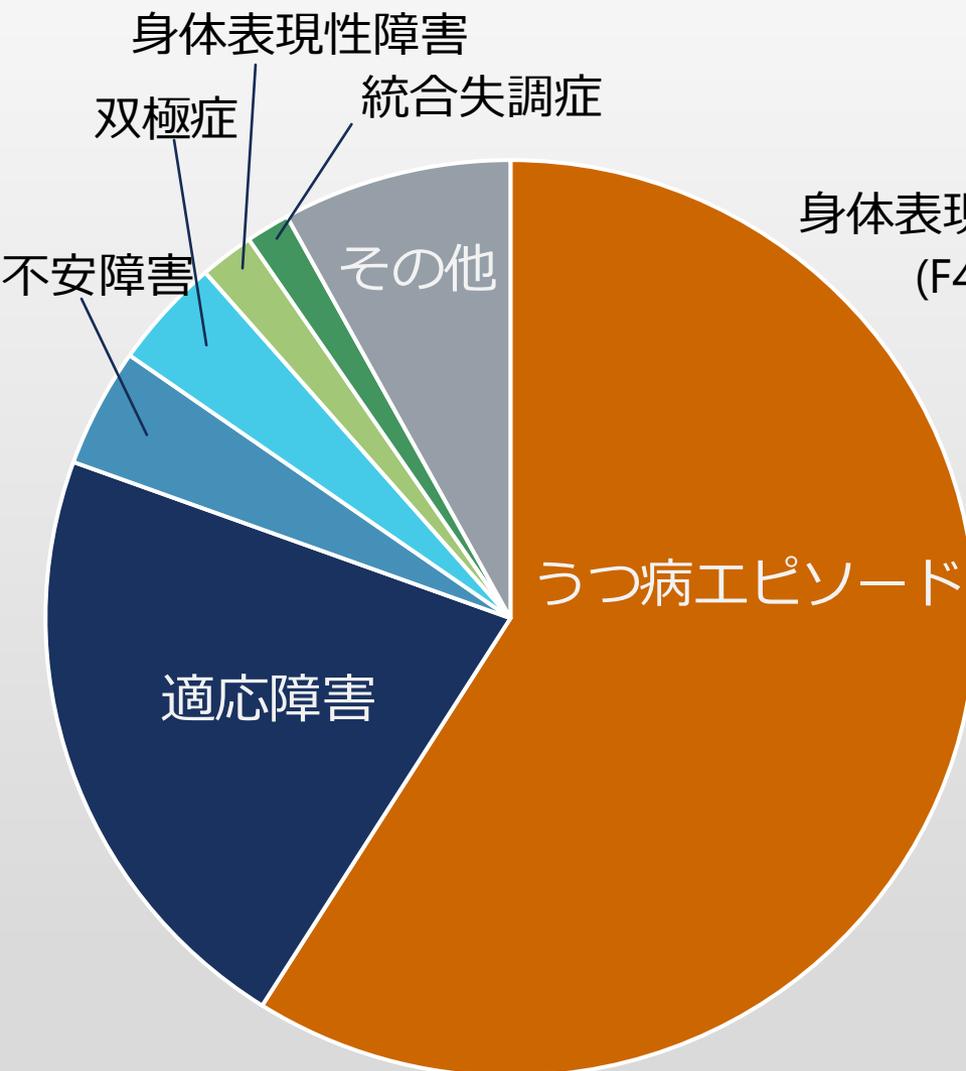


結果

精神疾患による長期病休の原因疾患

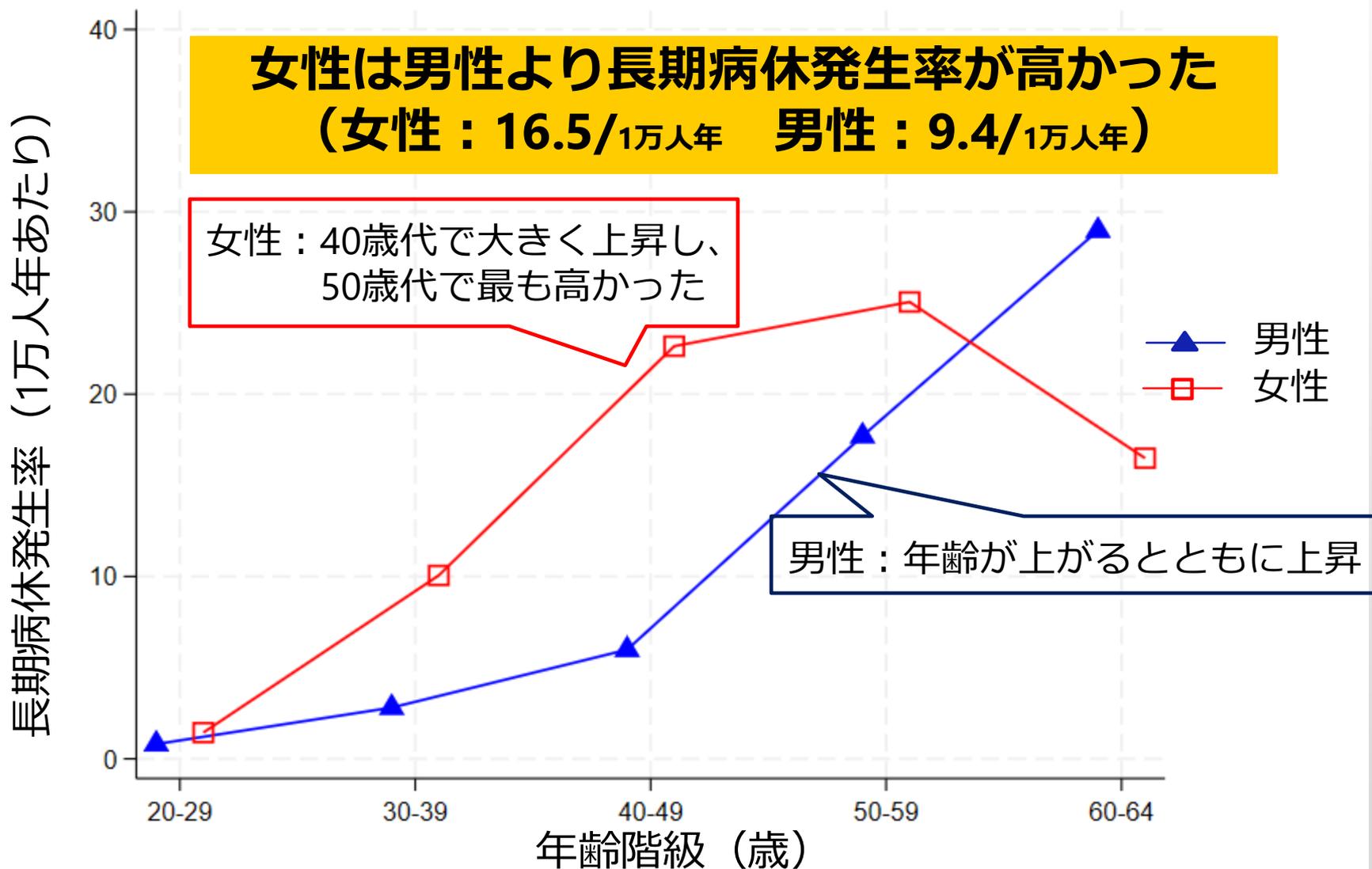
男性 件数：3,607件

女性 件数：800件



結果

腫瘍による長期病休発生率

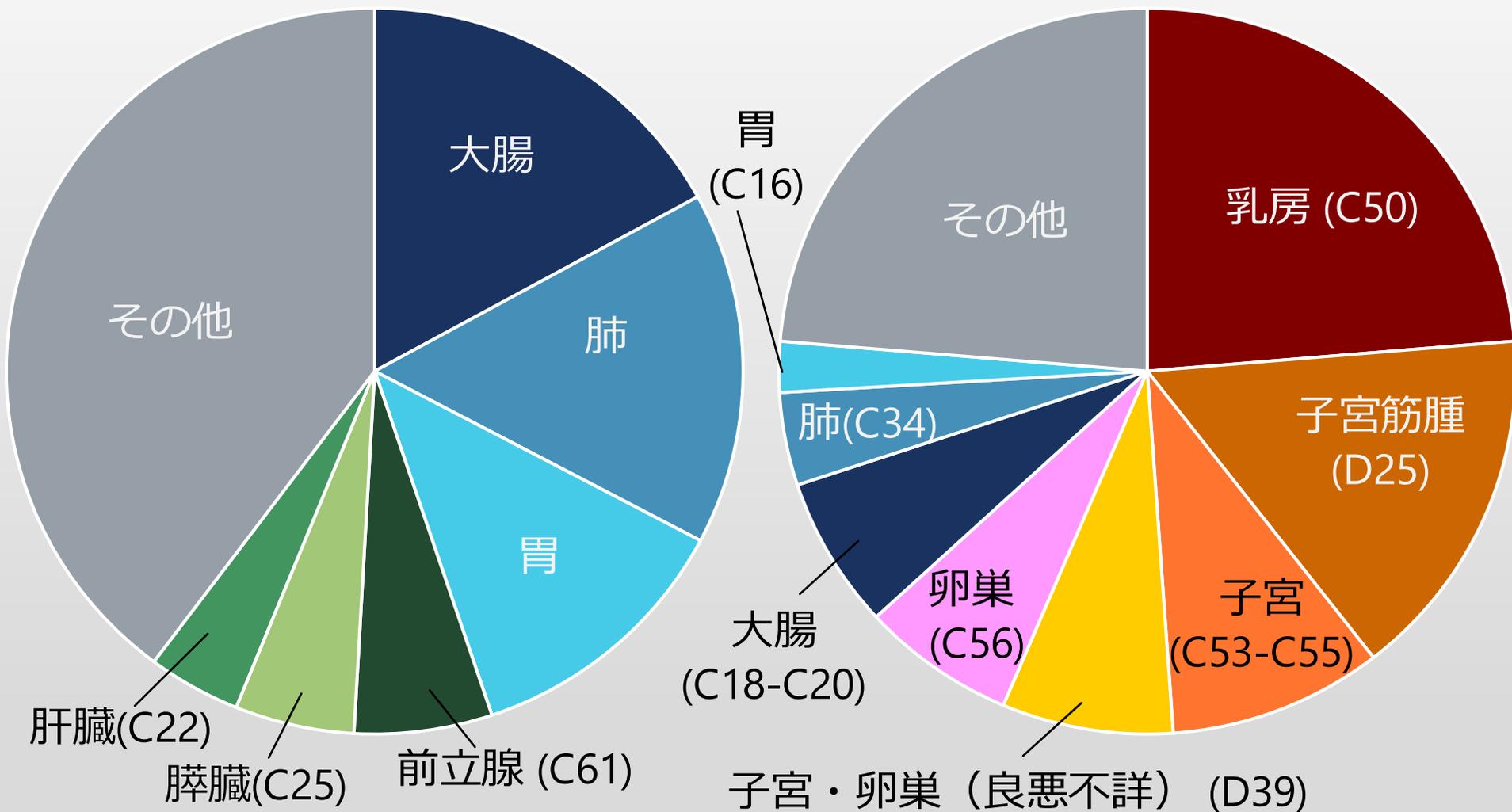


結果

腫瘍による長期病休の原因疾患

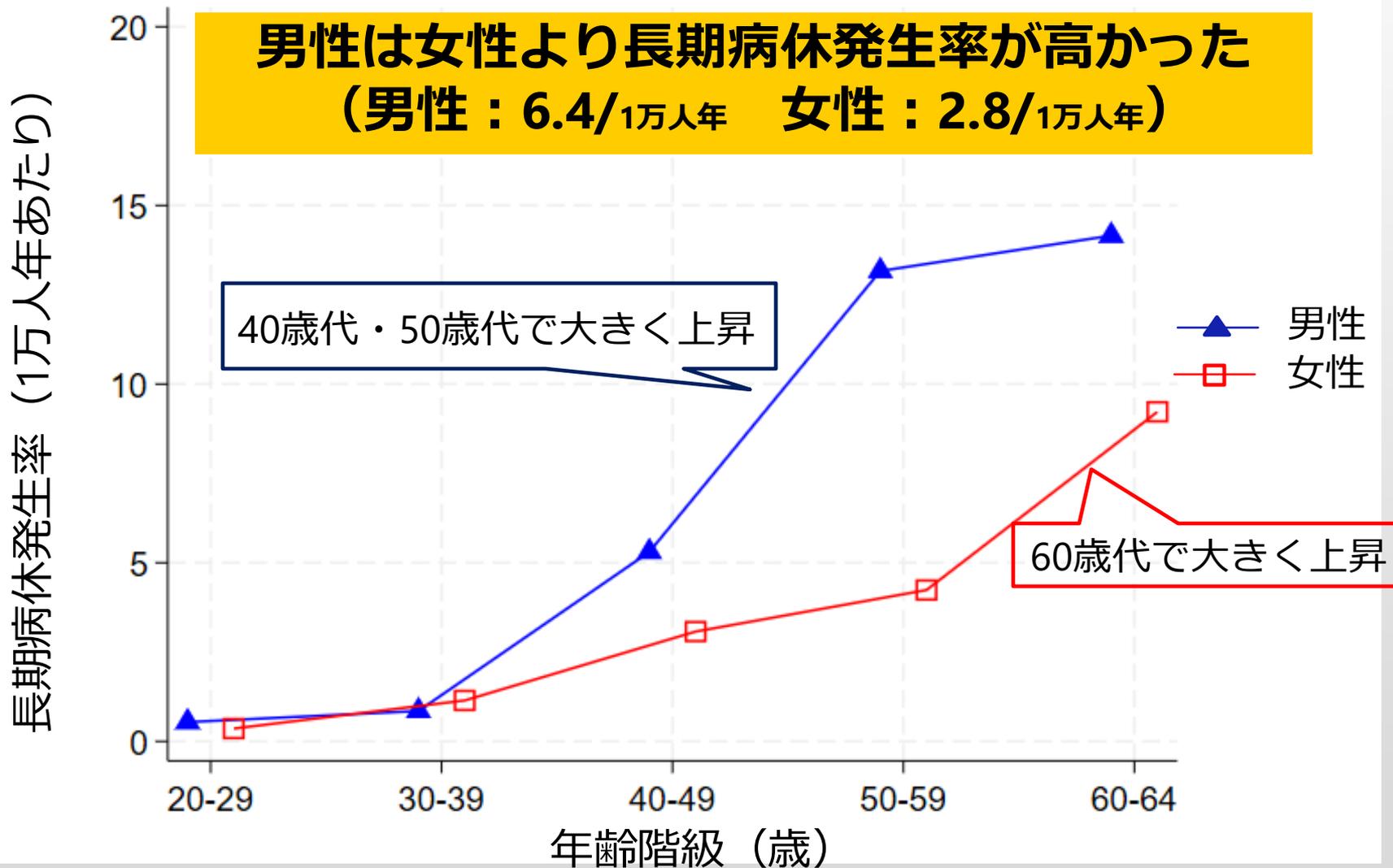
男性 件数：688件

女性 件数：266件



結果

循環器疾患による長期病休発生率

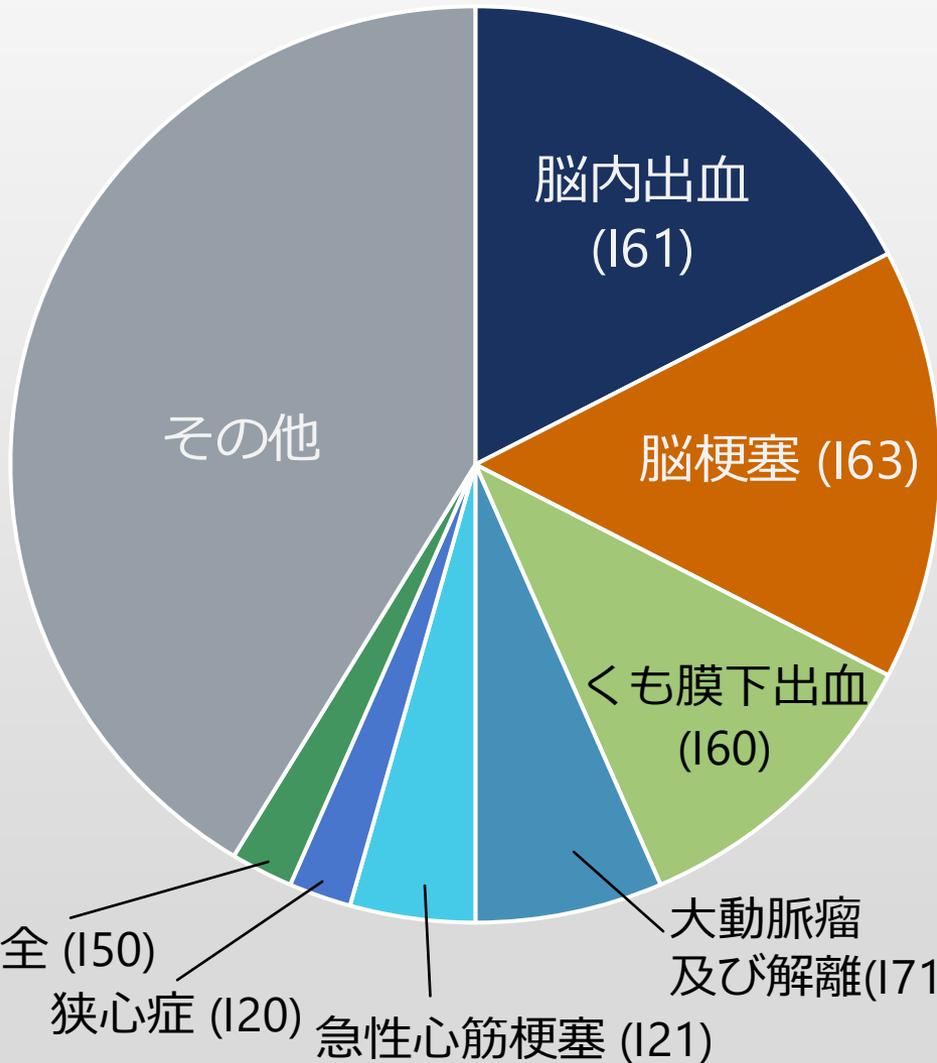
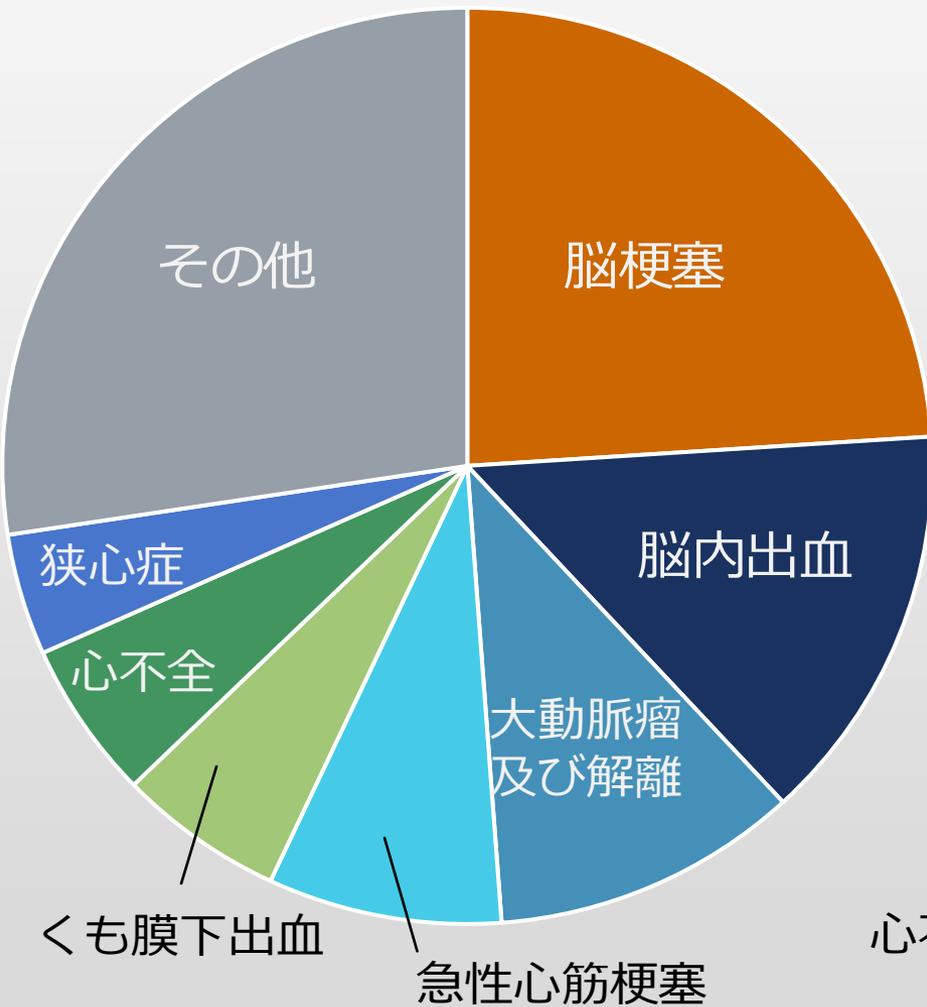


結果

循環器疾患による長期病休の原因疾患

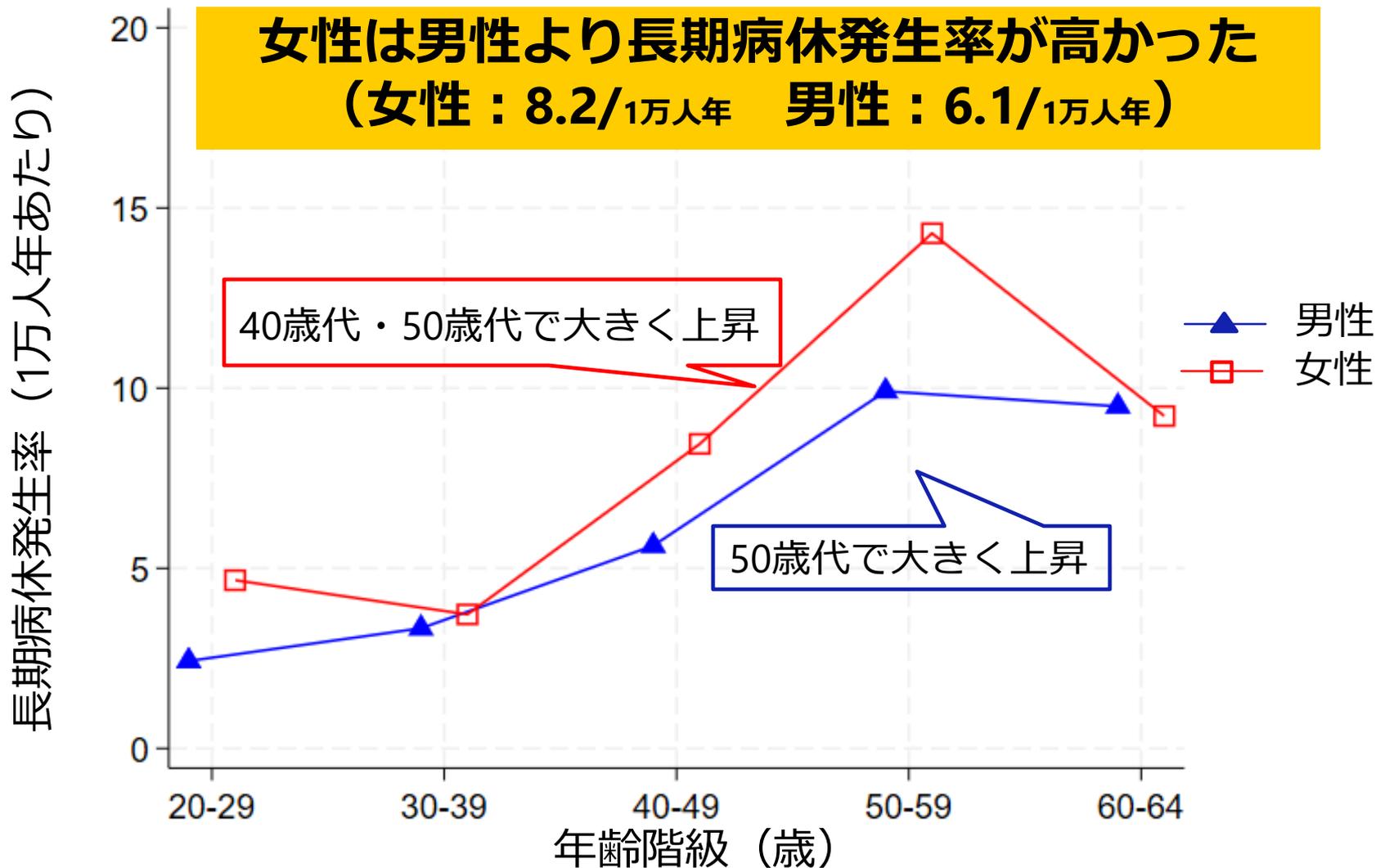
男性件数：467件

女性件数：46件



結果

筋骨格系疾患による長期病休発生率

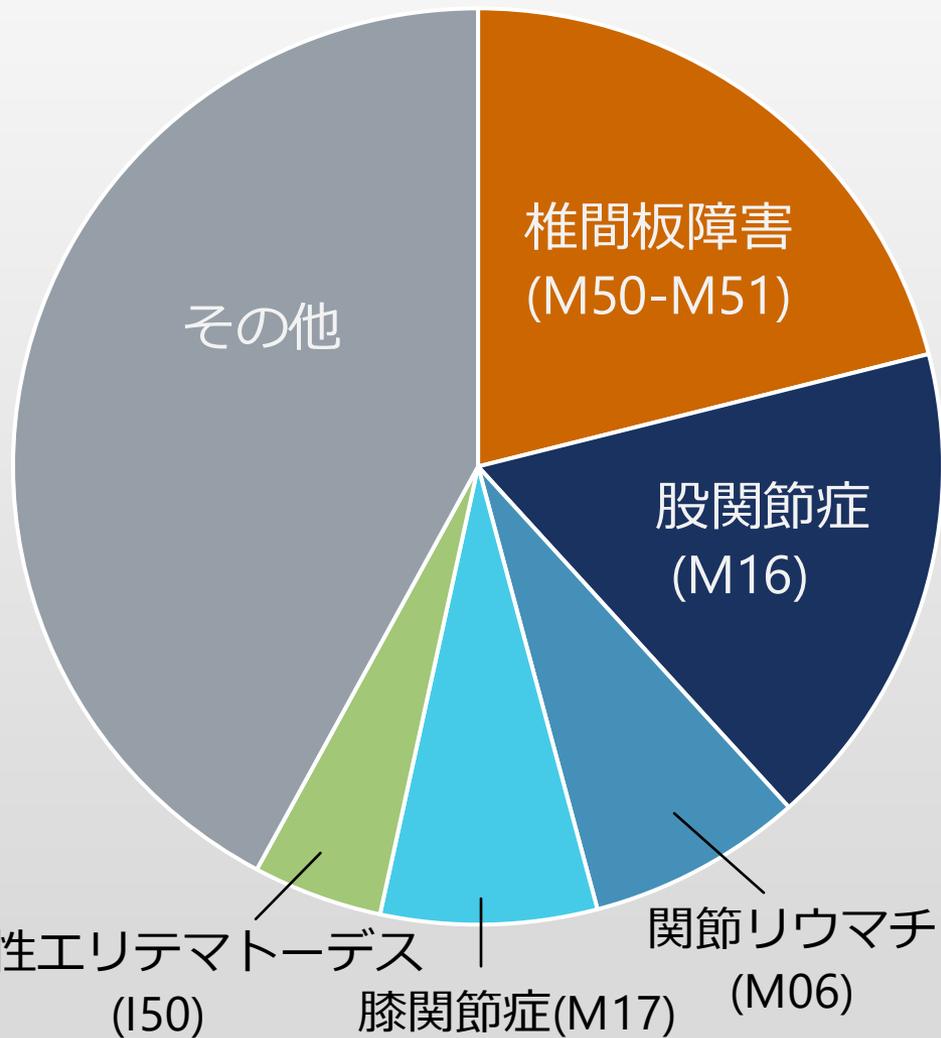
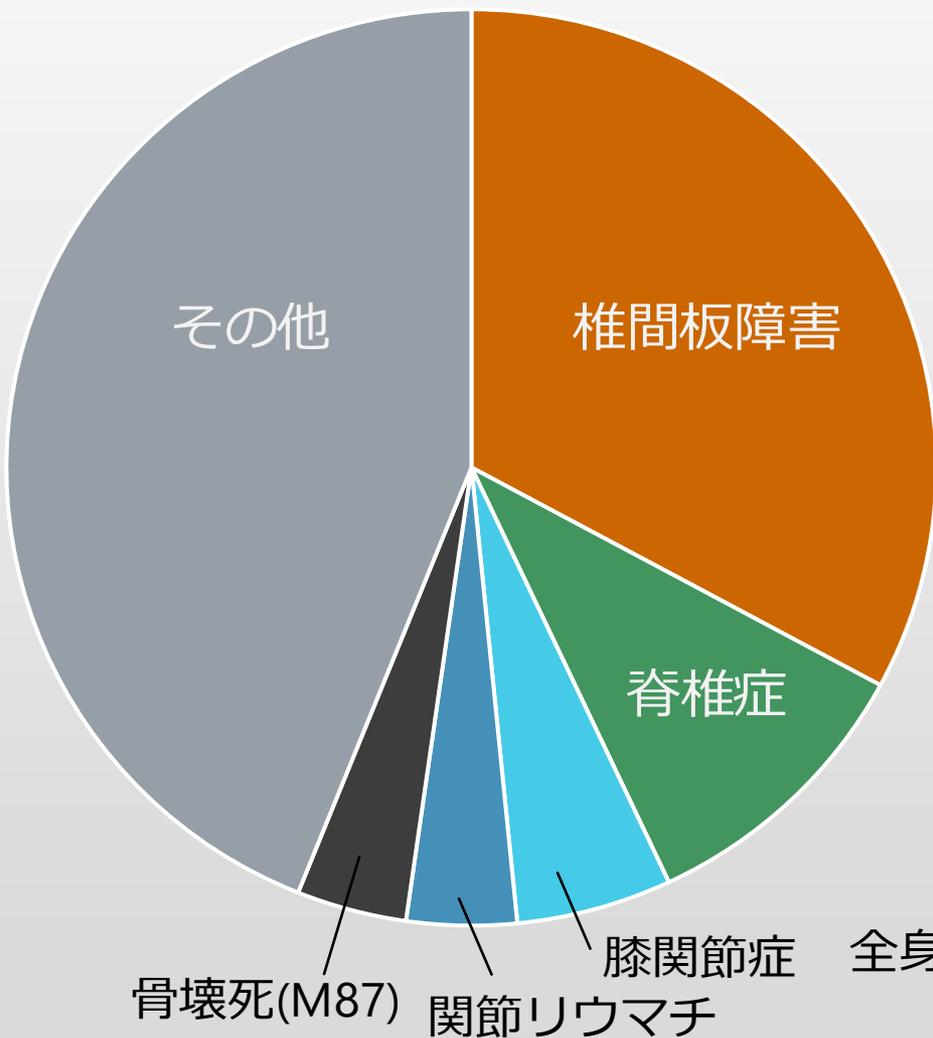


結果

筋骨格系疾患による長期病休の原因疾患

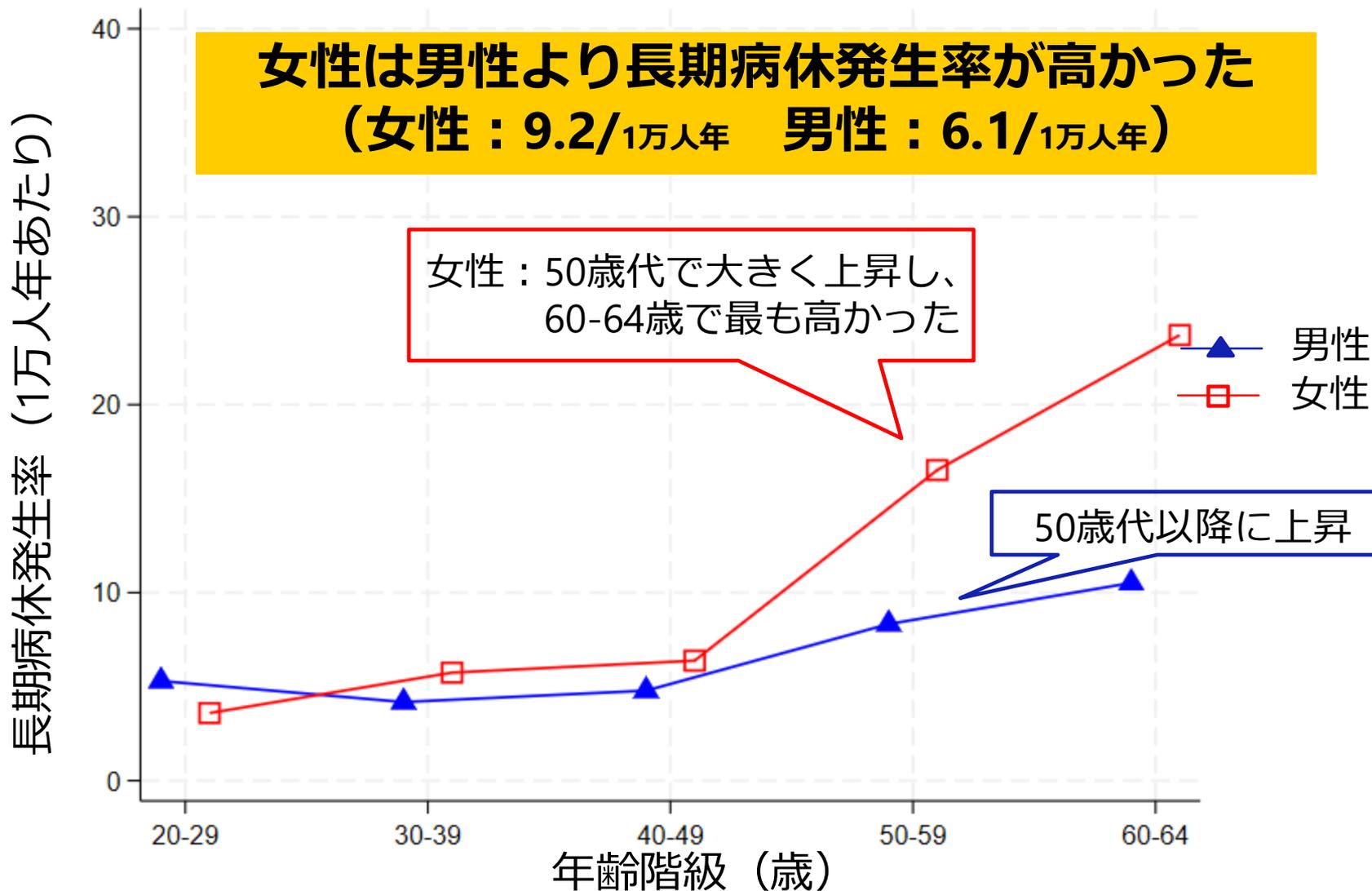
男性 件数：444件

女性 件数：133件



結果

外傷による長期病休発生率

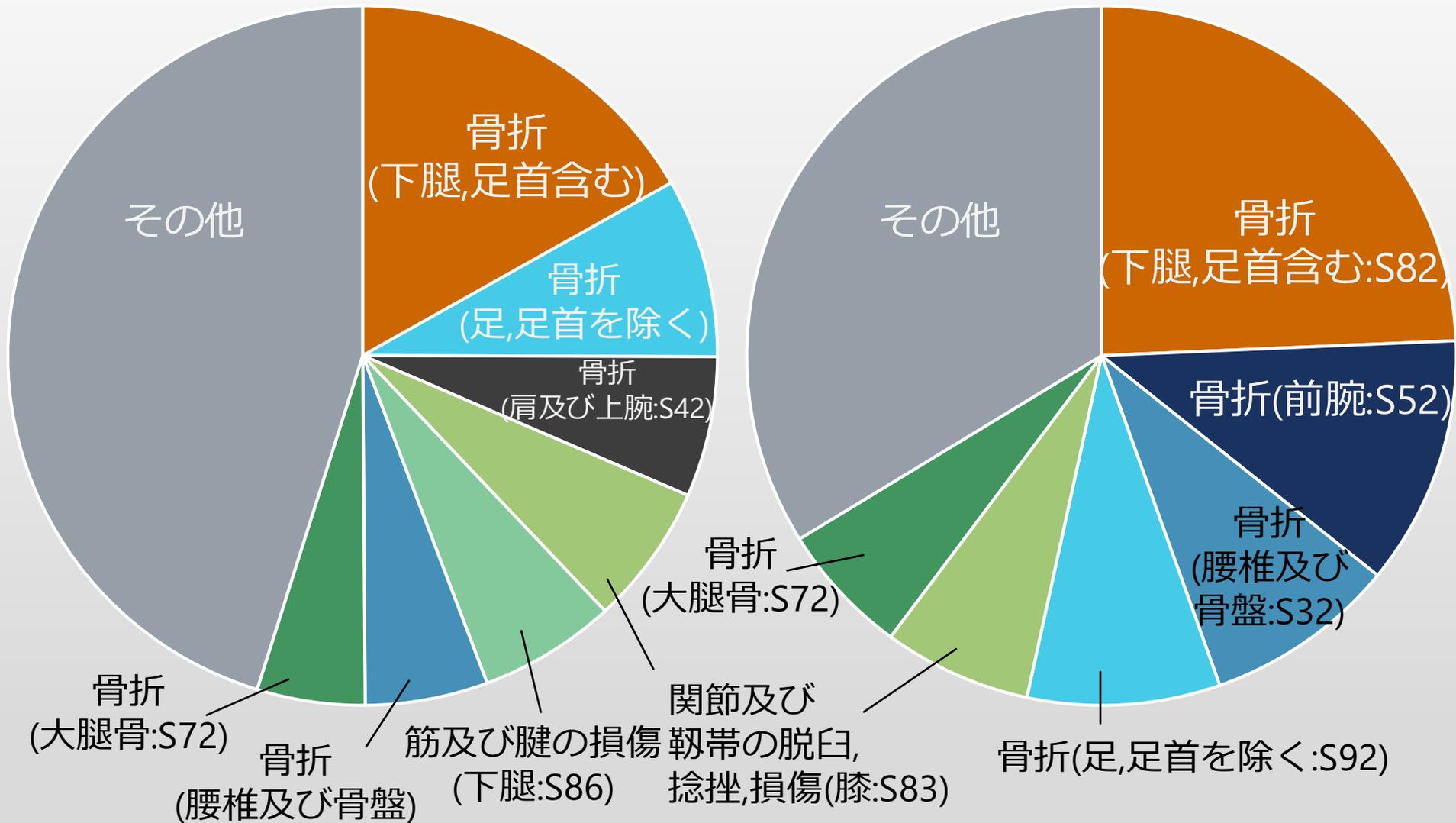


結果

外傷による長期病休の原因疾患

男性件数：447件

女性件数：148件



結論

- ◆ 女性は男性に比べて長期病休発生率が高かった
- ◆ 性・年齢により長期病休の原因となる疾患は大きく異なった
- ◆ 女性では精神疾患と妊娠関連の健康問題（20歳代・30歳代）、腫瘍、筋骨格系疾患、外傷（40歳代以降）によるものが多かった
- ◆ 男性では循環器疾患によるものが女性より多かった
- ◆ 労働者の性別・ライフステージごとの健康課題とこれらを考慮した健康管理対策の必要性が示された

・論文



Journal of Epidemiology



Original Article

J Epidemiol 2025

Incidence Rates of Medically Certified Long-term Sickness Absence Among Japanese Employees: A Focus on Sex Differences

Yukari Taniyama¹, Shohei Yamamoto¹, Yosuke Inoue¹, Toru Honda², Shuichiro Yamamoto², Tohrū Nakagawa², Hiroko Okazaki³, Hiroshi Ide³, Toshiaki Miyamoto⁴, Takeshi Kochi⁵, Takayuki Ogasawara⁶, Makoto Yamamoto⁷, Naoki Gommori⁸, Kenya Yamamoto⁹, Toshitaka Yokoya¹⁰, Maki Konishi¹, Seitaro Dohi³, Isamu Kabe¹¹, and Tetsuya Mizoue¹

PMID: 40383630

DOI: 10.2188/jea.JE20240485

・メディア掲載

朝日新聞デジタル記事：

<https://www.asahi.com/articles/AST6C40ZTT6CUTFL006M.html>

The Japan Times：

<https://www.japantimes.co.jp/news/2025/06/16/japan/japan-sick-leave-survey/>